

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-65	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	CⅢ710	ELEMENT English Communication Ⅲ		

1. 編修の基本方針

- ・教師にとって教えやすく、生徒にとって学びやすい教科書とする。
- ・題材を通じて、生徒の学力向上や精神的な成長に寄与できる教科書とする。
- ・生徒が自律的に学び、何ができるようになるのか、どのように身に付けるのかがわかる教科書とする。
- ・古今東西の話題から、生徒が積極的に接することができる題材を厳選して提示し、生徒が知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を養える教科書とする。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
各レッスン	・各題材を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培えるようにした。(第1号)	pp.31-40 など
Lesson 1, 2, 7	・題材を通じて、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。(第4号)。	pp.31-50 pp.113-122
Lesson 3	・題材を通じて、健やかな身体を養う態度を培えるようにした。(第1号)	pp.51-60
Lesson 4	・題材を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号)	pp.61-70
Lesson 5	・題材を通じて、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第4号)。 ・題材を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした。(第5号)	pp.81-90
Lesson 6	・題材を通じて、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び	pp.91-101

	生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした。(第2号)	
Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を通じて、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。(第4号)。 ・題材を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号) 	pp.123-133
Lesson 9, 10	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を通じて、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号) 	pp.141-161
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> ・紙面レイアウトを工夫し、写真を厳選するなどして、視覚的にも理解しやすい教科書とした。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-65	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	CⅢ710	ELEMENT English Communication Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・生徒が積極的に読んだり、聞いたり、話したり、書いたりできる興味深い題材を様々な分野から採用した。
- ・情報や考えなどを論理的に詳しく理解したり伝えたりする能力を養える構成とした。
- ・バランスよく、4技能5領域にわたるコミュニケーション能力が身に付く構成とした。
- ・レッスンを4つのユニットに分け、それぞれのテーマに沿った活動を行い、考えを深め、意見や気持ちを伝え合うことができる構成とした。また、Unit 1はSDGsに関する題材について学び、グラフや図などと見聞きした内容を結び付けながら思考・判断・表現ができる内容にした。

<高等学校外国語科の目標を達成するために用いた工夫>

- ①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- ・ **Communication Explorer** において、英語の文章の構成やディスコースマーカーなどについて解説し、論理的に「読む」「話す」「書く」ための活動を設け、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けられるようにした。
 - ・ 各レッスンの **Listening** において、実際に起こりうるさまざまな場面や状況を設定し、適切に聞くことができる技能を身に付けられるようにした。
 - ・ 各レッスンの **Reading** において、異なる題材・形式の英文を用意し、的確に理解できたかを確認するために、TRYにさまざまな形式の問題を設けた。また、TRYの **Retelling** においては、リテリング活動を通じて本文内の語彙や表現、文法などを着実に身に付け、話したり書いたりなどの統合的な活動へつなげながら、英文内容への理解を深められるように配慮した。
 - ・ 各レッスンの **Enrich Your Vocabulary** において、本文で出た語やそれに関連する語彙・表現を紹介し、類義語や対義語がどういった強さやニュアンスで使われるかを一覧で示しながら、場面や状況に応じて適切に利用できるようにした。
 - ・ 巻末の **New Words & Phrases** において、各レッスンの新出語の英英定義を示し、英語を英語のまま理解し、語彙への理解を深めることができるようにした。
 - ・ **Pleasure Reading 1** において、二次元コードでアメリカ英語・イギリス英語の2種類の音声を用意し、発音の違いについて意識する機会を設けた。

②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力・判断力・表現力)

- ・ **Note-Taking** において、聞いたり読んだりする際に、情報や考えなどの概要や要点をすばやくつかむための効果的なメモの取り方を身に付けられるようにした。
- ・ 各レッスンの **Reading** の **TRY** において、読んだ英文の概要や要点をすばやくつかみ、リテリングやペア活動などを通じて、書き手の意図を話し合ったり、それについての自分の意見を述べ合うといった活動ができるようにした。
- ・ 各レッスンの **Speaking・Writing** において、グラフや図などのポイントを読み取り、適切に表現する技能が身に付けられるようにした。
- ・ 各レッスンの **Enrich Your Vocabulary** において、的確な語彙・表現を用いて、グラフや図、写真などを表現する技能が身に付けられるようにした。
- ・ **Pros and Cons** において、ディベートのやり方について学び、講義の内容や肯定・反対の意見を理解し、自分の意見をまとめて発表することができるようにした。
- ・ **Communication in Practice** において、読んだり聞いたりした内容の概要や要点をメモとしてまとめ、すばやく理解する技能を身に付けられるようにした。
- ・ **Speed Reading** において、本文に関連するある程度の長さの英文を読むことで、本文への理解を深め、すばやく概要や要点をつかむ技能を身に付けられるようにした。

③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(主体的かつ対話的に学習に取り組む態度)

- ・ 巻頭の **Course Overview** において、各レッスンの目標や活動内容を一覧にし、目標の設定と自身の達成度を推しはかれるようにした。
- ・ 各レッスンの **Reading** の **TRY** において、複数人によるリテリングで英文への理解を深め合ったり、自身の意見や気持ちを述べ合うことができるようにした。
- ・ 各レッスンの **Speaking・Writing** において、さまざまなテーマや場面を設定し、聞き手や読み手などに配慮しながら、主体的・自律的に意見や気持ちを話したり書いたりすることができるようにした。
- ・ **Pros and Cons** において、ディベートの中で相手に配慮しながら、自分の意見をまとめて発表することができるようにした。
- ・ **Communication in Practice** において、読んだり聞いたりした内容についての感想や意見を主体的に話したり書いたりする機会を設けた。
- ・ **Pleasure Reading 1** において、二次元コードでアメリカ英語・イギリス英語の2種類の音声を用意し、世界のさまざまな英語について理解を深められるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Note-Taking	(1)アイウエ (2)ア (3)①アイウ ②アイ	pp.16-21	1
Communication Explorer 1~2 Expressions for Communication Explorer	(1)イウエ (2)アイウ (3)①アウオカ ②アイ	pp.24-30	1
Lesson 1 Energy	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.31-40	6
Lesson 2 Environment and Life	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.41-50	6
Lesson 3 Health and Life	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.51-60	6
Lesson 4 Humans and Technology	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.61-70	6
Pros and Cons 1	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.71-74	1
Communication Explorer 3~4	(1)イウエ (2)アイウ (3)①アウオカ ②アイ	pp.76-79	1
Boost Your English 1	(1)ウエ	p.80	0.5

	(2)イ (3)①エ ②アイ		
Lesson 5 Diversity	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.81-90	7
Lesson 6 Education	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.91-101	9
Pros and Cons 2	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.102-105	1
Boost Your English 2	(1)ア (2)ア (3)①アイ ②アイ	p.106	0.5
Communication Explorer 5~6	(1)イウエ (2)アウ (3)①アウオ ②アイ	pp.108-111	1
Boost Your English 3	(1)アウエ (2)イ (3)①アウエ ②イ	p.112	0.5
Lesson 7 Miracles of Nature	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.113-122	7
Lesson 8 Sustainable Development	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.123-133	9
Boost Your English 4	(1)ウ (2)イ	p.134	0.5

	(3)①アウエ ②アウエ		
Communication Explorer 7～8	(1)アイウエ (2)アイ (3)①アイウオ ②アイ	pp.136-140	1
Lesson 9 Art and Heart	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.141-150	7
Lesson 10 Human Relationships	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.151-161	9
Pleasure Reading 1 San Fairy Ann	(1)アイウエ (2)アイ (3)①アイウエ ②アイ	pp.162-167	5
Pleasure Reading 2 An Alien Megastructure?	(1)アイウエ (2)アイ (3)①アイウエ ②アイ	pp.168-172	6
Pleasure Reading 3 <i>Sapiens</i> —The Cognitive Revolution: How We Parted from Chimpanzees	(1)アイウエ (2)アイ (3)①アイウエ ②アイ	pp.173-179	7
Communication in Practice 1 Art	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウカ ②アイ	pp.180-181	1
Communication in Practice 2 Animals	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエカ ②アイ	pp.182-183	1
Speed Reading 1～10	(1)イウエ (2)ア (3)①アウ	pp.184-193	5

	②アイ		
		計	106

年間配當時数 106 時間（予備時間 34 時間）

学習指導要領の内容の取扱い	図書の構成・内容	該当箇所
コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。	各レッスンにおいて、「英語コミュニケーション I・II」における既習の語句や文構造、文法事項などを繰り返し利用し、4 技能 5 領域において総合的な言語力を身に付けられるよう配慮した。 各レッスンにテーマを設定し、それについて 4 技能 5 領域を統合した活動を行えるよう配慮した。	pp.31-40 など
	Communication Explorer 1～8 において、これまでの既習事項を踏まえ、論理的に詳しく読み、話し、書く活動を行うためのスキルを身につけ、複数の領域を結び付けた言語活動を行えるように配慮した。	pp.24-30 など
	Pros and Cons 1～2 において、これまでの既習事項を踏まえ、ディベートなどの複数の領域を結び付けた言語活動を行えるよう配慮した。	pp.71-74 など
	Communication in Practice 1～2 において、これまでの既習事項を踏まえ、各場面において複数の領域を結び付けた言語活動を行えるよう配慮した。	pp.180-183